

目標達成計画

事業所名: グループホームえべつ

作成日: 令和 5年 2月 21日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組内容	目標達成に要する期間
1	23 26 33	ケアプランに沿ったケアをすることは意識出来ているが、一点 集中となり、なぜそのケアが必要かの理解に至っていない。 ケアプラン内容を理解し、より良い介護提供に繋げたい。 介護者の業務日誌にならず様子が伝わる記録とし、ご家族様との情報共有の手段としたい。	・なぜこのプランが必要か、何を指すのかを理解し、支援提供時どうだったか、その後どうなったかなど、様子が見える記録に努める ・情報共有がスムーズに行える。	入居者様それぞれが声に出来ない所をケアプランに反映させる。 計画作成担当者は、ご家族・職員に対し、なぜこのプランなのか丁寧に説明し理解につなげる。 プランの「なぜ」を意識し、医療者からの指導提案の意味合いを理解し支援を行う。 様子が見える記録を意識する。職員間で記録を学び合う。	2年
2	43 36	入居者様の状態が日々変化していく。 入居者様への対応が職員ペース、職員目線で押しつけや指導的になり、声掛けが強い口調になってしまうことがある。 入居者様全体で多数の中の一人の考え方や、共通の支援になりがち。入居者様それぞれが主体のオーダーワンの支援が不十分。	口調を常に振り返ることを意識する。 初心に帰り認知症の理解を深め、入居者様本位にそれぞれの入居者様に合わせた支援を行う。 入居者様が、必要とされ心地よいと感じることが出来る一人一人に合った支援を、都度話し合い臨機応変に丁寧な支援をする。	管理者は、接遇面の指導を常に意識する。 入居者様の状態変化にこれまでの支援を振り返り、普段の観察、気付きを大切に職員間で共有する。 看護師や理学療法士、作業療法士の指導の下、より良い介助方法を学ぶ。 接遇研修を丁寧に行う。 介護職としての本意、認知症の理解を深める。	2年
3	34 35	災害時の対応に不安がある。 災害時備品の保管場所、災害時の行動など、まだ自分事として意識出来ているとは言えない。	災害は自分事と意識し、率先して行動できるようになる。 災害時の連携の理解を深める。	定期的な災害時訓練の実施。 常に資料を基に学べる環境を整える。 実践がいつでも出来るよう管理者は自分磨きに努める。	2年
4	1 11 13 36	職員間のコミュニケーションをより良くし、互いに皆が意見を言い合え尊重し合え、指摘や指導を真摯に受け止めることが出来るような雰囲気不足している。	何故を考える。 互いを尊重する。 意見し合うことで、問題点や何が良くなるかを、考える癖をつける。	1日5分、問題点を話し合い解決できる場を設ける。 (昼食後フロアが落ち着いた時間にミニカンファを行う) なぜ、指摘し合うことに躊躇するか意見を出し合う。 管理者職員それぞれがクッションとなる意識を持つ。	2年

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入してください。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加してください。